

## 若手口腔外科医の皆様へのお知らせ

若手口腔外科医委員会

委員長 古 郷 幹 彦

若手口腔外科医の皆様、第1回若手口腔外科医の交流会は11月1日に無事終了しました。初めての試みでしたので、いろいろと改善すべき点があることも明らかになりました。交流会に参加していただき、アンケートに回答していただいた皆様にお礼申し上げます。

第2回は札幌での第64回学術集会・総会の土曜日17時より予定しております。皆様にいただいたご意見を反映させて、より良い交流会にしていきたいと考えていますので、多数の皆様のご参加をお待ち申し上げます。

さらに、本年度は将来の口腔外科医療を担う皆様の盛り立てたく以下の企画を計画しています。今後のホームページや本誌の案内にご注意していただけたらと思います。

以下、「若手」とは専門医取得前の口腔外科医とします。

### 1. 国内研修支援制度について

皆様が所属している病院以外の施設の口腔外科診療や手術を見学・診療体験してみたい方のために、上記支援制度を本年度開始いたします。学会ホームページの「事業案内」に、「若手口腔外科医国内研修支援制度」の欄があります。そこに若手の訪問研修受け入れ可能な施設（口腔外科学会研修施設・准研修施設）の一覧表がエクセル形式で掲載されています。

そのリストを参照の上、見学したい施設がありましたらその連絡先に、皆様が直接連絡をとっていただき、交渉をしていただきます。研修期間、研修条件、研修内容等、施設によって様々ですのでよくご検討ください。希望研修施設と交渉がまとまりましたら、ホームページから申請書作成の上、学会事務局まで申請してください。締め切りは2019年2月28日です。

申請書を委員会で選考の上、研修補助金として学会から交通費等経費の一部を援助したいと存じます（申請者全員が援助を受けるものではありません）。

なお、研修先の病院と関連する病院が近隣にある場合には主たる研修先病院と関連病院の責任者が認めた場合に限り研修期間内に複数の病院で研修することも可能とします。

また、この制度は、以前から皆様の先輩が一定期間他施設を訪問し、手術見学等していた個人的な研修を、資金面で本学会がサポートするものです。臨床研修医やレジデントとして就職を斡旋するものではありません。所属先の上司と相談の上、相手施設と交渉し、研修が終われば本来の施設に戻るものです。

本制度によって口腔外科の人材交流と若手の育成を活性化したいと考えています。

## 2. 若手口腔外科医の優秀論文賞について

若手口腔医の活躍を顕彰するために、学術大会時の論文表彰とは別に、若手口腔外科医委員会によって過去 1 年間における優秀論文を表彰いたします。若手口腔医の自薦により応募してください。なお表彰者は 1 名、賞金 50,000 円の予定です。

応募条件は以下のとおりです。

- ・ 専門医取得前の若手であること（年齢は問いません）。
- ・ 以下の指定雑誌に英文で掲載済みであること。
- ・ 論文掲載日が、2018 年 1 月 1 日～12 月 31 日であること。
- ・ 原著論文であること（研究分野は問いません）。

〈表彰対象の雑誌〉

1. International Journal of Oral and Maxillofacial Surgery
2. Journal of Oral and Maxillofacial Surgery (AAOMS)
3. British Journal of Oral and Maxillofacial Surgery
4. Oral Surgery, Oral Medicine, Oral Pathology, and Oral Radiology
5. Journal of Cranio-Maxillofacial Surgery
6. Oral Oncology
7. The Cleft Palate-Craniofacial Journal
8. Oral Diseases
9. Journal of Oral Pathology & Medicine
10. Head & Neck
11. DentoMaxilloFacial Radiology
12. Journal of Bone and Mineral Metabolism

応募締め切り：2019 年 4 月末

応募方法：事務局のメールアドレス（office@jsoms.or.jp）に論文 PDF を添付して、「若手口腔外科医の優秀論文賞申請」の表題をつけて、メールにて応募してください。

多数の応募をお待ちしています。